かみまち議会だより
GIKAI-Press

令和8年11月1日発行
宮城県加美町議会
No.95











「観光元年」特別な場所・味を目指して ※関連記事は5ページ

● 第3回定例会(9/8～18)

議員の視点 どうする？これからの町立学校・・P2
R7決算 財政回復の兆しも油断禁物・・P6
一般質問　町政を問う・・・・・・・・・・P10

議会中継はこちらから

加美町議会映像配信　検索

https://kami-town.stream.jfit.co.jp/

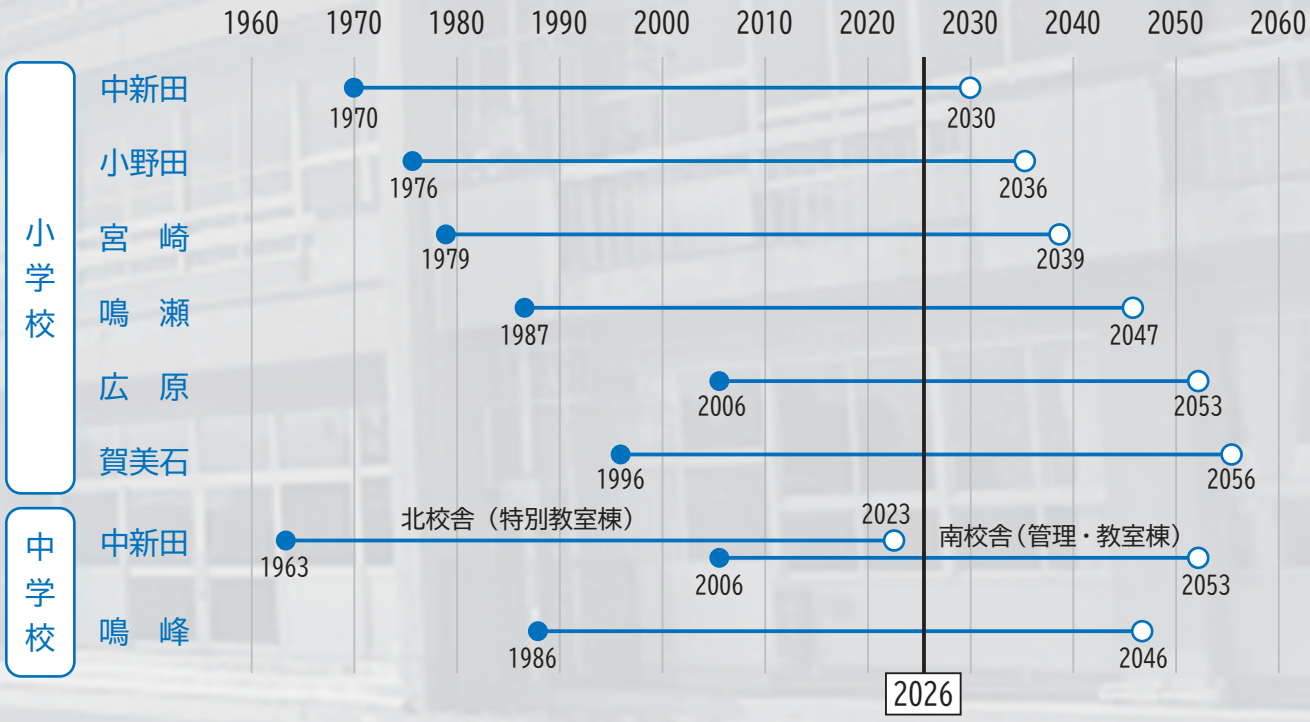
議会はこう見る！

どうする？ 今後の町立学校

町立学校各施設の経年劣化が進み、古い校舎や体育館では雨漏りや外壁の剥がれなどが数多く見られます。また、児童数の減少により、近年中に複式学級化が見込まれる小学校もあります。

子どもたちが安全に充実した教育を受けることができる教育環境の整備のため、校舎の耐用年数、入学児童数の見通し、地域コミュニティの観点などから、議会としても大規模改修・建て替え・統廃合の必要性など議論していきたいと思います。

校舎の建設年と法定耐用年数到達年



学校施設の法定耐用年数

鉄筋コンクリート造の場合、６０年または４７年（平成１０年度改正による）となっています。これはあくまで税務上、減価償却費を算定するためのものであり、適切な維持管理のもとであれば７０～８０年程度持たせることが可能であると言われています。

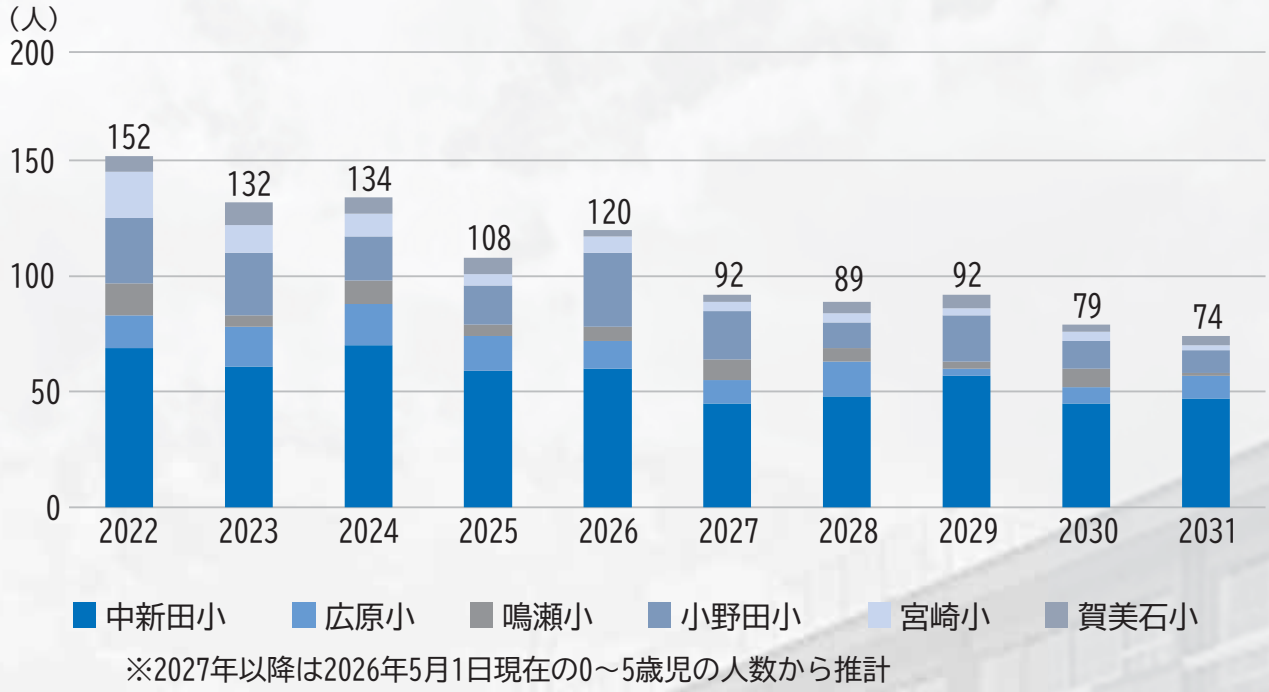
議員の視点

校舎や体育館の老朽化への対応は、子どもたちの安全に関わる重大な課題。必要な改修を急ぐとともに、他校でも施設の傷みが進んでいないか、速やかな点検が求められます。危険箇所を見逃さず、安全な学習環境を守る取り組みを望みます。



中新田小 廊下の壁から雨漏り

小学校区別の入学児童数の推移



※2027年以降は2026年5月1日現在の0～5歳児の人数から推計

学校の位置と児童生徒数 ※2026年5月1日現在



小学生	778人
中学生	472人
合　計	1,250人

① 中新田小 385人　④ 小野田小 150人　⑦ 中新田中 287人
② 広 原 小　87人　⑤ 宮 崎 小　63人　⑧ 鳴 峰 中 185人
③ 鳴 瀬 小　47人　⑥ 賀美石小　46人

議員の視点

今後５年間の入学者数は、就学前の子どもの数から推計が可能です。文科省は、複式学級や免許外指導の解消も学校規模を考える視点としています。地域の実情に配慮しながら、統廃合も含め、子どもたちの学びを支える学校のあり方を考える必要があります。

まとめ　未来につながる学校づくり

町長は答弁の中で、中新田小学校の新築を進める考えを示しました。一方、学校が地域の核を担うことから、統廃合ありきではなく、小規模校の良さも生かしながら、今後の町立学校のあり方を早急に議論したいとしています。

学校の将来を考える上では、地域コミュニティへの影響や、地方交付税の算定を含む財政面への目配りも欠かせません。その上で、議論の中心に置きたいのは、子どもたちが安全に、充実した教育を受けられる環境です。

児童生徒数の見通しを踏まえ、改修・建て替えや統廃合に加え、小中一貫校化、跡地利用など、広い視野で検討することが求められます。議会としても、保護者や地域住民とそれぞれの利点や課題を共有し、加美町の未来につながる学校づくりについて、議論を進めていきます。

兆しも油断禁物

一般会計 決算額

歳入 １５９億１,２５７万円

歳出 １５３億３,１９７万円

全会計の歳入・歳出決算を 全会一致で認定

令和７年度　各特別会計の決算額

会計名		歳入額	歳出額
特別会計	国民健康保険事業	27億8,289万円	26億3,046万円
	後期高齢者医療	3億7,016万円	3億6,568万円
	介護保険	33億4,902万円	32億219万円
	介護サービス事業	721万円	518万円
	加美郡介護認定審査会	721万円	572万円
	霊園事業	416万円	111万円
	町営駐車場事業	244万円	229万円
下水道事業	収益的収支	10億2,021万円	9億6,924万円
	資本的収支※	4億7,536万円	7億6,777万円
水道事業	収益的収支※	4億9,977万円	5億306万円
	資本的収支※	307万円	1億4,804万円

※収支の不足額には、前年度からの剰余金・積立金などで補填しています。

監査意見書（抜粋）



令和７年度は、町の将来像として掲げる「住民満足度100％、日本一の加美町」の実現に向けて各種重点施策に取り組みました。特に台湾・嘉義市との交流は、友好都市提携協定の締結により、今後の文化的・経済的交流への発展が期待されます。また、クマの異常出没や筋川の油流出事故に対し、緊急対策を講じました。

財政状況については、河川への油流出対策など一般財源経費の大幅な増加要因がありましたが、財政調整基金を過度に取り崩すことなく、単年度収支が黒字化するとともに、主要な財政指標値も改善しました。これは、町税をはじめとする歳入の増加や、行財政改革により経常経費を抑制できたことが要因です。

しかしながら、今後も人件費・扶助費など義務的経費や、物件費など固定経費の増加が見込まれるため、引き続き、事務事業の見直しや業務効率化、公共施設の機能集約・統廃合を推進することが重要です。

第３回 定例会

［本会議］（9/8～18）
- 9/8　一般質問　4人
- 9/9　一般質問　4人
- 9/10　一般質問　2人
- 議案審議
- 9/18　議案審議

［決算審査特別委員会］
（9/10～18）

９月８日から18日までの11日間で開催し、10人の議員が町政について一般質問をしました。

議案審議では、決算審査特別委員会で審査した令和７年度各種会計決算10件の認定や、加美町地域福祉計画審議会条例の制定のほか、令和８年度一般会計補正予算などの議案を審議し、全て原案のとおり可決しました。

定例会で審議した内容

- 専決処分……5件
- 条例制定・改正……3件
- 契約締結（物品購入・工事請負）……3件
- 補正予算……5件
- 決算認定……10件
- その他……6件

令和7年度決算

単年度収支4年ぶり黒字

財政状況回復の認定

委員長報告（抜粋）



普通会計の単年度収支が4年ぶりに6,443万4千円の黒字となりました。また、実質単年度収支の赤字額も縮小され、財政状況が改善されています。

しかしながら、人口減少に伴う歳入減、物価・人件費高騰に伴う一般財源の負担増が今後見込まれるため、引き続き、行財政改革に取り組むよう要望します。

また、審査で多くの意見があった次の7点について併せて要望します。

決算審査特別委員会から7つの要望

①職場環境 働き方改革・技術職確保

メンタル不調による長期病休取得者が依然として多く見られます。若手・中堅職員の退職も増加しています。働き方改革を進めるとともに、職員の適切な採用と配置、特に不足している技術職の確保に注力してください。

②防犯カメラ 不具合の再発防止

花楽小路の防犯カメラが作動していなかったことが判明しました。定期的な点検など再発防止を図ってください。

③AIデマンドバス 利用増加へ積極周知

当日予約が可能になりましたが、利用が少ないため積極的に周知してください。

④振興公社指定管理施設 経営の分析・改善

各施設の利用者が減少しています。経営課題を分析し、支出している指定管理料に見合った成果が得られるよう、町としても努めてください。

⑤ユニークベニュー推進業務 事業成果の十分な説明を

「観光元年」としてスタートした石山町政の目玉事業の一つとして取り組んだにも関わらず、資料の記載や説明が不十分でした。後日改めて説明の機会を設けてください。

※後日説明あり。内容は下記を参照

⑥商工観光課 重要政策推進に人員強化

台湾・嘉義市との交流や観光振興など、町長の重要政策を担っていますが、遂行する職員が不足しています。職員数を確保し、円滑に事業推進できる体制を早期に構築してください。

⑦育英資金 制度見直し・周知強化

令和7年度は希望者がいませんでしたが、大学進学率は上昇傾向にあり、一定のニーズはあると思われます。募集の時期を含めて利用しやすい奨学金制度へ見直すとともに、対象者への周知を強化してください。

ユニークベニュー推進業務

加美町ならではの体験を提供



地元食材のフルコースを交流センターで味わう

令和7年度決算審査特別委員会で説明が不足していたユニークベニュー推進業務について、詳細な説明がありました。

ユニークベニューとは「特別な場所」という意味で、グラベル世界大会の誘致を契機に、加美町ならではのスポーツ観光モデルを確立するために行われました。

ユニークベニュー推進業務

「ダイニングアウトin加美」の開催

交流センターを特設レストランとして、県内有名シェフが地元食材を使った料理や地酒を提供。町の新たな「食の魅力」を伝えるコンテンツを造成した。

モニターツアーで観光ガイド養成

中新田商店街のまち歩きなどを行うモニターツアーを開催。「親しみやすく温かみのあるおもてなし」をテーマに行い、観光ガイドの実践力を養った。

加美町みやげ「柿ようかん」の開発

クマ対策の一環で加美農生と一緒に柿を収穫し、それを使用したようかんを加美町のおみやげとして開発した。

など6業務

決算をチェック

決算審査特別委員会では、担当職員から説明を聞き細部にわたり慎重に審査しました。

その中で、多くの委員が注目した事業・決算について、意見や考察を含めて紹介します。

空き家バンク運営事業

決算額　４０４万円

議会はこう見る!

空き家に関する相談、ｗｅｂページの運営などを行い相談件数２１４件、新規登録件数９件、売買成約３件となった。

空き家バンクは相談や登録だけではなく、実際の成約や移住・定住につなげることが重要。所有者が登録をためらう理由や成約に至らない課題を分析し、関係機関との連携を強化し具体的な成果目標を設定することで、空き家の利活用を推進するよう期待する。

住民バス運行事業

決算額　１億１，５２２万円



スマートフォンから簡単予約

Smart GoTo

アプリの使い方はこちらから ➡

議会はこう見る!

西古川駅への通学路線新設などで住民バス全体の利用は増加した。一方、楽ちんワゴン（ＡＩデマンドバス）は当日予約が可能になったものの利用は減少。当日予約やアプリの利用実績を確認し、費用に見合う効果の検証と運行の改善を求めたい。

避難行動要支援者登録事業

決算額　３９万円



要支援者など様々な避難者を想定した避難所運営（Ｒ８総合防災訓練）

議会はこう見る!

要支援者の情報は町や警察・消防、さらに地域の区長・民生委員に共有されているが、災害発生時に避難支援を行うであろう地域住民や消防団員には個人情報保護の観点から伝達がされていない。また、個別避難計画の作成も必要とされているため、緊急時に適切な行動をとるための体制構築を望む。

令和7年度

一般会計歳出

１５３億3,１９７万円

（対前年　１０億５，６６６万円増額）

学力達成度テスト事業　決算額　１６１万円

議会はこう見る！

小学３年生から中学２年生の学力達成度テストは、到達基準を満たした割合が前年を下回り、町の目標にも届かなかった。

決算審査では結果の評価と授業改善への活用を質疑。教育委員会は学年・教科別の分析を授業改善に生かしていると答弁があった。

町民にも学力の現状や伸びが分かる評価指標の工夫と、着実な学力向上を期待したい。

公共施設等総合管理事業　決算額　９５８万円

議会はこう見る！

公共施設等総合管理計画は平成２９年に策定され、令和９年から第２期計画がスタートするが、令和７年度末時点で第１期計画の目標は殆ど達成されていない。今後、町全体の施設を何割減らしていくか取りまとめるというが、加美町は保有する公共施設が一人当たり１０．３㎡と全国平均の３倍強に当たる。早急に各施設の統合・除却・譲渡を進めるべきである。

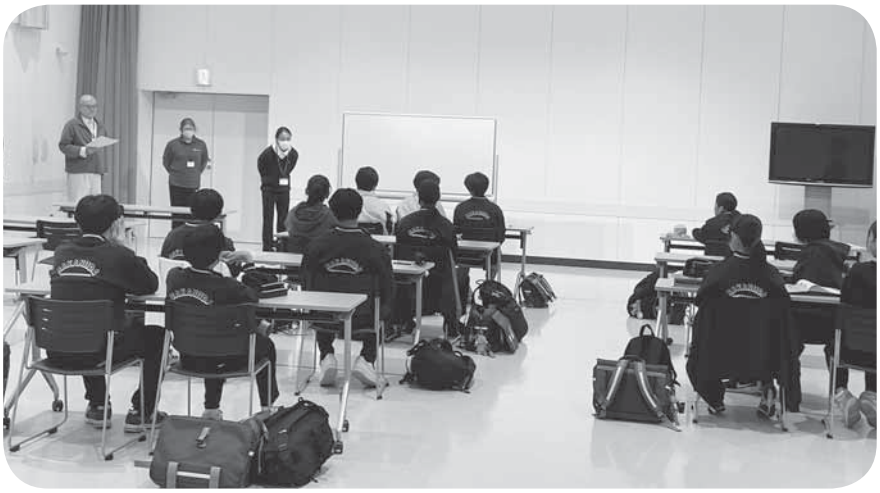


昨年解体された小野田東部体育館（現 小野田小学校駐車場）

加美町地域未来塾事業（寺子屋）　決算額　１１７万円

議会はこう見る！

地域住民の協力を得て、学習の支援機会を設ける事業である。しかしながら高校入試勉強のための放課後寺子屋に関し、教育委員会と中学校との間に認識のずれがあるようで、支援員に対して参加する学生の人数が少ない状況である。継続を検討するうえで、募集方法や、開催計画など学校との密な連絡などを行い、より効果的な方法を模索する必要がある。



中学生の自主勉強をお手伝い（放課後寺子屋）

議案審議

令和７年度各種会計決算が全会一致で認定されたほか、特別職の給料・報酬を引き上げる条例改正、消防団新基準活動服の購入契約締結などについての審議を行いました。

町長など特別職 給料・報酬を引き上げ

物価・賃金の上昇、県内他市町村との比較、農業委員会会長としての活動分の算入などにより、特別職の給料・報酬が引き上げられます。（今年４月に遡及して適用）

職　名	給料・報酬額	
	改正前	改正後
町　　長	855,300円	874,000円
副 町 長	634,300円	648,000円
教 育 長	521,300円	546,000円
監査(識見)	619,000円	644,000円
監査(議選)	465,000円	484,000円
農委会長	826,000円	1,116,000円

※町長・副町長・教育長は月額
　監査・農委会長は年額
※町長公約により町長・副町長・教育長の給料はこの表から20%、10%、5%減額されています。(R9.8月まで)

消防団活動服をリニューアル

消防団員が着用する活動服を新基準のものに更新します。視認性が高くより安全で、夏場でも快適な高ストレッチ性のオールシーズン型を配備します。購入金額は540着で938万円です。

【現行】



【更新後】



補正予算

一般会計歳入歳出予算にそれぞれ４億３，６９４万１千円を追加し、総額１５４億３，８２８万８千円とする補正予算を原案のとおり可決しました。

Pick UP

旧母子寮の屋根撤去・解体設計 3812万円 増

旧母子生活支援センター（旧母子寮）は、全ての入所者が退居したため令和３年３月末に休所し、他の目的への活用が検討されてきました。

しかし、建物の老朽化が進み、今年４月に屋根材が飛散して周辺の車両や構造物に被害を与えたことから、今後の被害を防ぐために屋根を撤去します。併せて、来年度に建物を解体するため、設計業務を委託します。

問 設計委託業務の中に周辺調査も含まれるとのことだが、どのような場合に必要な調査なのか。

答 法的な義務は無いが、周辺に家屋が密集している中での振動が伴う工事なので、事前に家屋の状態を確認したい。



中新田地区にある旧母子寮

Pick UP

クマ対策に柿の木など伐採
1億750万円 増

作年、木の実の不作などが原因で、クマが餌を求めて町に下りて、民家敷地内の柿や栗の木に登り実を食べるという事例が多発しました。関係各所の尽力により人的被害はありませんでしたが、住民の不安はとても大きなものでした。

そこで、今後のクマ出没への対策として、餌となる民家敷地内の果樹を伐採します。伐採する木は既に申請があったもののみで、それ以外については早期収穫など適切な管理を呼びかけています。

なお、町や加美農生により収穫された柿の一部は、加美町みやげの柿ようかんに使われます。



伐採前の木から柿を収穫する加美農生（写真提供：大崎タイムス）

問 何本の木をいつまでに伐採するのか。

答 370本の伐採を、年度内の完了を目標に進める。

問 元々あった木を伐採することで、他の場所にクマが出没する可能性があると思うが、切った木の位置を地図に落とし込む考えはあるか。

答 個人所有の木を伐採するということもあり、地図に表示する考えは無い。



柿ようかん　5個入り　2,000円（税抜）

Pick UP

中新田小の雨漏りを修繕
959万円 増

中新田小学校の校舎内で発生している雨漏りを解消するため、外壁や屋上防水シートなどを修繕します。



屋上に続く階段が特に酷い状況

問 工事を行う時期は。また、児童がいる時間に行うことになると思うが、その対応は。

答 できれば冬までに終えたい。児童への対応については、朝の登校時と被らないよう工事を行うなど考えている。

一般会計補正予算

	主な内容	補正額	
歳入	普通交付税	2億105万円 増	
	指定管理鳥獣対策事業交付金	8,958万円 増	
	公共施設等除却事業債	3,370万円 増	
歳出	旧母子生活支援センター屋根撤去工事・解体設計委託	3,812万円 増	Pick UP
	放任果樹伐採業務委託	1億750万円 増	Pick UP
	初午まつり山車修復事業補助金	2,200万円 増	
	中新田小校舎外壁等改修工事	959万円 増	Pick UP

町政を問う　10人が質問

似顔絵を描いてくれたみなさん

加美町立

中新田中学校

美　術　部



一般質問目次



通告1番 **早坂　伊佐雄**（はやさか いさお）

農地保全　11ページ

補助金返還の町の対応策は



通告6番 **伊藤　　淳**（いとう じゅん）

環境美化　13ページ

無くならない不法投棄 根絶を



通告2番 **沼田　雄哉**（ぬまた ゆうや）

校舎整備　11ページ

中新田小学校の改善・整備を



通告7番 **田中　草太**（たなか そうた）

振興公社　14ページ

政策目標重視の指定管理を



通告3番 **伊藤　由子**（いとう ゆうこ）

支所機能　12ページ

防災の観点から職員数は維持すべき



通告8番 **佐藤　圭介**（さとう けいすけ）

外国人増加　14ページ

増える行政課題 どう備える



通告4番 **髙橋　聡輔**（たかはし そうすけ）

校舎建設　12ページ

統廃合を含めた政治的判断は



通告9番 **木村　哲夫**（きむら てつお）

連絡ツール　15ページ

要望のある学校専用アプリの導入は



通告5番 **早坂　　潔**（はやさか きよし）

観光振興　13ページ

町ゆかりの作品で観光誘致を



通告10番 **今野　清人**（こんの きよと）

証明書交付　15ページ

住民満足度向上の取り組みを

●**一般質問**…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。
（掲載しているＱＲコード（議員写真下）で、録画映像を視聴できます。）

農地保全

補助金返還の町の対応策は

町長　事業継続支援費を交付したい



録画映像

問　高齢化や後継者不足の対策として親元就農を支援する考えは。

農林課長　新規就農者の確保は喫緊の課題である。国の新規就農者支援対策を活用して確保に努めたい。

問　全国的に多面的支払交付金事業は、会計検査院の指摘により返還金が生じていることから、規模縮小や中止せざるを得ない状況になっている。事業継続のための町の考えは。

町長　当該年度返還金の町費相当分（25％）を事業継続支援費として交付し、活用してもらいたい。

問　事業の対象地となるか否かの確認を、町の組織間で連携をとり確認できないか。

農林課長　農業再生協議会や農業委員会のデータを活用し、現地確認の負担を減らし、農地の現状を正しく把握していきたい。

多面的機能支払交付金とは…

農業や農村が持つ多面的機能（国土の保全、水源の涵養、景観形成など）の維持・活用を図るため、地域の共同活動により行われる、水路・農道・農地法面を維持する取組などに支払われる交付金。



農地法面の草刈り

その他の質問

- 公共施設の修繕
- 小中学校の授業でのウォーターパーク利用状況

質問のねらい

多面的機能支払交付金事業は農地維持活動や環境保全等を支援するためだが、対象地の基準や返還方法が二転三転し混乱しているため。

校舎整備

中新田小学校の改善・整備を

教育長　避けては通れない最優先課題



録画映像

問　中新田小学校の校舎・体育館の雨漏りや外壁面の亀裂などが見られており、早急な対応が必要ではないか。

教育長　中新田小学校の校舎は、建築から50年以上が経過しており、施設の老朽化への対応は、避けては通れない最優先課題である。屋上や外壁のひび割れ、窓枠からの雨漏りをはじめ、広範囲で修繕が必要な状況となっている。

問　雨漏りの状況を知ったのはいつ頃か。

教育総務課長　今年の5月中旬、学校訪問の際に校長先生から説明を受け、とても深刻な状態であることを知った。これまで、学校から改修の要望は出ていなかった。

問　新校舎の建設について、いつ検討を始めるのか。

教育長　雨漏りや老朽化の現況を見ると、待ったなしで着手する必要があると考えている。

問　新庁舎開庁後は現在の職員駐車場が空くため、そこに新校舎を建設しては。

町長　庁内において、建て替えを前提に、議論を始めるよう指示を出している。位置については慎重に考えていく。



階段の壁から酷い雨漏り

その他の質問

- ネーミングライツの推進状況

質問のねらい

中新田小学校の校舎と体育館の雨漏りがあまりにも酷すぎる。未来を担う子どもたちの教育環境を、より良いものとするため。

支所機能　防災の観点から職員数は維持すべき

行政経営推進課長　現在の職員体制は維持したい



録画映像

問　窓口・住民生活・産業建設・福祉センター・公民館機能など6つの検討部会に共通する地域課題とは何か。

町長　人口減少・少子高齢化など、限られた職員数による運営や公共施設をどう残し、地域機能をどのように維持していくかが課題。

問　地域コミュニティの現状をどのように捉え、どのような方向性が望ましいと考えているのか。

行政経営推進課長　行政区単位での自立的な運営が困難になると予想される。地区公民館が地域コミュニティの最後の砦として機能している現状にある。今後、方向性として支所の相談・対応機能を強化していけないか検討中。

問　災害時における支所の初動体制業務は欠かせない。線状降水帯など頻発している昨今、対応するための職員の確保は。

行政経営推進課長　支所機能として初動対応や相談業務を行う。通常の業務職員、その他の職員は減らさず、現体制は維持していく。



幅広い対応が求められる支所

その他の質問
- グリーンツーリズムの現状と今後の方向性

質問のねらい

宮崎・小野田地域の人口減少が急速に進行中である。支所の相談機能および災害時の初動対応機能は必須。職員を減らすべきではない。

校舎建設　統廃合を含めた政治的判断は

町　長　少人数でも質の高い教育を



録画映像

問　中新田小学校は耐用年数も迫っており、大規模修繕に踏み切れない状況と考えるが、現状は。

教育長　令和12年で耐用年数の60年を迎える。機能的な耐用年数は限界に近づいている。

問　建て替えを行う場合、入学児童の予測人数・学校施設の在り方・場所の問題についてどのように考えているか。

教育長　令和14年4月の児童数は300人を割り込むことが予測される。地域コミュニティとの複合化を検討しつつ、現代の教育基準を満たす高度な機能が求められる。場所に関しては、地域住民や保護者の意見を聞きながら基本構想、基本計画の策定に向けて検討する。

問　児童数が300人を割り込む事を考慮すると、統廃合も含めた政治的判断が必要になると思うが。

町長　統廃合ありきで物事を進めたいとは思っていない。地域コミュニティは小学校単位で成り立っているという事実があると思っている。適正な学級数があるのは知った上で、少人数でも特色のある質の高い教育を第一義的に検討し、また客観的な物の見方も踏まえて検討していく。

質問のねらい

小学校の建て替えは、入学予定者数を踏まえつつ、場所・規模・範囲の検討をしなければならない。政治的判断を含めた町長の考えを伺う。



まもなく建設６０年

その他の質問
- 加美町と学生の連携について

観光振興

町ゆかりの作品で観光誘致を

町長 「ぼのぼの」をもっと活用したい

問 「ぼのぼの館」開設からの利用状況や取り組みの成果をどう評価しているか。

町長 アンケート調査から仙台圏などを中心に全国からファンが訪れ、商店街との周遊に一定の成果を見出している。

問 今年、仙台海浜エリアで「ぼのぼの」のスタンプラリーが行われた。加美町でも同様の企画ができるのでは。

商工観光課長 ツール・ド・347の代替として、山形県との連携イベントを企画しており、その内容がスタンプラリーなので検討したい。

問 「ぼのぼの」を活用した観光誘致策として、町の企業と協力しての商品開発など意見交換する場を設けては。

商工観光課長 「ぼのぼの」に限らず「かみ~ご」の活用も関係団体で協議し、一緒に考えていきたい。



録画映像



町を歩けば「ぼのぼの」が待ってます

問 アニメなどの聖地巡礼をする方は、作品が好きだという気持ちを最優先して訪ねてくれる。観光振興のためにも「ぼのぼの」のみならず、新たな戦略の研究・検討をお願いしたい。

町長 「ぼのぼの」に「かみ~ご」が登場した単行本が刊行されるタイミングが一つのチャンス。他にも映画の撮影などで加美町が舞台になっていることを看板設置などでPRを行いたい。

質問のねらい

本町ゆかりのアニメや映画作品を活用し、聖地巡礼などによる観光誘客と地域活性化につなげる方策を問う。

その他の質問

- 関係人口の創出
- 今秋のクマ対策

環境美化

無くならない不法投棄 根絶を

町長 継続的な啓発に努めている

問 最近発生した不法投棄の具体的な例は。

町長 昨年末に、ヤギの頭部および内臓などの投棄があったが、警察の捜査により原因者が特定され、適正な措置が講じられた。

問 こうした事案に対する今後の対策は。

町長 通報を受けた際の迅速な初動対応と、警察をはじめとする関係機関との緊密な連携により不法投棄の抑止に努めていきたい。

問 自然環境保全監視員の監視区域を広げる必要性は。

町民課長 山間地だけではなく平地もという考えもあるかもしれないが、環境美化条例に基づいて、町や公園などのごみについては各行政区で担当してもらっている。



録画映像

問 各地区の監視員はどのような状況になっているか。また、増員の必要性は。

町長 小野田地区が5人、宮崎地区が1人、中新田と宮崎を兼ねる方が1人いる。

監視する内容が多岐にわたっているため、増員について監視員の意見も含めて検討していく。

質問のねらい

不法投棄を根絶すべく、更なる注意喚起と、自然環境保全監視員制度の再認識と関係機関の連携強化を提案。



無くならない不法投棄(町内)

その他の質問

- インクルーシブ事業

振興公社

政策目標重視の指定管理を

町長　公社と協議し経営改善へ



録画映像

問 プールやパークゴルフは町民の健康のために指定管理で支える必要がある。一方、ぶな林は指定管理料を受けても赤字が続く。改善への対応は。

町長 商工観光課から必要な指示を出し、経営改善に取り組んでもらっている。

問 ぶな林のレストラン部分を民間に業務委託してはどうか。町は指定管理料を減らし、公社は赤字を減らせる。職員を他施設に回せば、人手不足の解消にもつながる。民間企業も賃料負担を抑えて出店できるのではないか。

総務課長 その方法はあるが、公社の意向確認が必要。

問 町は公社の株主でもある。こうした方法も使い、ぶな林の経営を見直せないか。

町長 これだけ町が関与しなければ運営できない状況は、ゆゆしき事態である。健康増進施設と宿泊・飲食事業は分けて考えるべきだ。公社と協議し、町の財政負担を減らす方向に進めたい。

問 ぶな林の改善はいつまでに進めるのか。

町長 うまくいけば今年度中にめどが立つ可能性がある。



変わらぬメニュー
やくらい地ビールシチュー　¥2,200

その他の質問

●町内小学生へのプール利用助成事業

質問のねらい

町民の健康を支える施設には公費を使うべき。一方で宿泊・飲食事業には稼ぐ力を求めたい。特にぶな林の民間委託を提案した。

外国人増加

増える行政課題　どう備える

町長　受入れ体制を今以上に構築



録画映像

問 外国人住民数のこの5年間の推移は。また、技能実習・特定技能の人数、受入事業者数を町はどこまで把握しているのか。

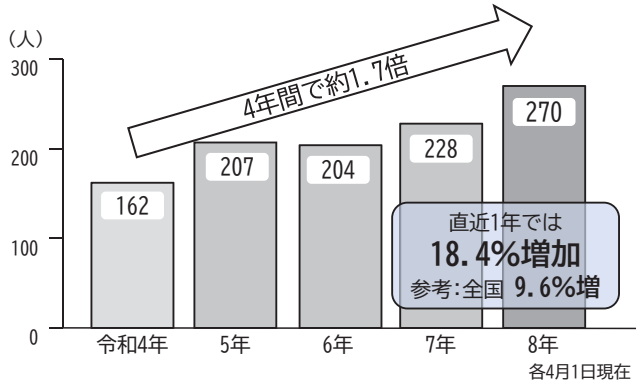
町長 令和4年度162人から令和8年度270人に増加。技能実習92人、特定技能46人。調査で雇用事業者19社を把握。

問 全国的に問題となっている失踪なども踏まえ、国籍や在留資格、勤務先まで把握し、事業者と連携すべきでは。

ひと・しごと推進課長 全事業所ではないが、国籍・在留資格を調査。新たに特定技能外国人を雇用する事業者の協力確認書を活用し連携する。

問 日本語指導が必要な外国人児童生徒が増え、国籍も多様化した場合、どこまで対応できると考えているか。

教育総務課長 現段階では県の教員加配事業に頼っている。町で確実に対応できるかは、県と協議していく必要がある。



外国人住民数の推移

問 長期定住や家族帯同で今後も行政需要の増加が見込まれる。外国人材の活用、受入れをどう考えるか。

町長 ダムの本体工事による増加も見据え、孤立を防ぐ意味でも、コミュニティを含む受入れ体制の構築が重要と思っている。

質問のねらい

全国的に外国人が増え、人手不足解消に寄与する一方、課題も顕在化している。本町の受入れ体制の現状を知り、今後の方針を問う。

連絡ツール

要望のある学校専用アプリの導入は

教育長　保護者からの意見を踏まえ検討中

問　学校から保護者への連絡ツールは、現在、メール配信システムを使用している。保護者から専用アプリを導入してほしいとの要望があるが。

教育長　昨年度はクマの目撃情報が頻繁に配信され、学校からの重要なメールが紛れてしまうことがあった。改善を求める意見も踏まえ、アプリ導入を検討していたところである。

問　専用アプリに町内企業のバナー広告を掲載し、企業のPRや広告料収入などで財政負担を軽減しながら運用する考えはないか。

教育長　町と事業者の双方にメリットがあると考える。導入している自治体などを参考にしながら検討していきたい。

問　現予算の範囲内や、校務支援システムとの連携ができるアプリを調べたところ、さまざまな特色があった。教育委員会で検討している要件は。

教育総務課長　導入要件は、アプリ方式で教育委員会や学校からの発信が自由にでき、カテゴリーごとに分けられる機能があること。欠席などの連絡や校務支援システムとの連携が可能であることなどを検討している。企業広告掲載で教育用備品購入のサポートを行うアプリは現予算よりも安価で大変魅力的だと思う。



録画映像



保護者が連絡を見落とさないツール導入を

質問のねらい

学校と保護者の連絡ツールとして専用アプリを導入し、その中に町内企業の広告を掲載し企業PRと財政負担軽減を図れないか提案。

その他の質問

●中小企業振興基本計画

証明書交付

住民満足度向上の取り組みを

町　長　利便性向上の工夫を続ける

問　加美町では年間どのくらい証明書が交付されているのか。

町長　令和7年度は、住民票・印鑑証明・戸籍関係・税証明など合計2万5,682件を交付している。

問　なぜこれまでコンビニでの証明書交付が導入されていないのか。

町長　基幹システムの標準化に合わせて導入することで初期費用を抑える方向で検討していたが、住民基本台帳や税などの標準化が令和10年度にずれ込む予定となり、導入時期にも影響している。

問　今後、コンビニ交付を導入するのか。

町長　住民の利便性向上を図るためにも必要不可欠と認識しており、システム標準化を待たずに令和9年度中の導入を目指している。

問　導入した際のメリットは何か。また導入費用はどの程度か。

町民課長　住民の利便性向上が一番大きい。次に職員の窓口業務の軽減により働き方改革にもつながると考える。費用は6,000～7,000万円を見込んでおり、国から補助率2分の1の交付金を受けられる。



録画映像

質問のねらい

各種証明書の取得は現在、役場や支所での手続きが基本となっている。利便性向上の観点からコンビニでの交付について伺う。

その他の質問

●加美町西部（宮崎・小野田）の農業振興



証明書の取得がしやすくなります

大規模風力発電事業 認定取消しを国へ要望

再エネ特別委員会 8月10日

加美町で計画されている（仮称）宮城西部風力発電事業について、国に対して計画の認定取消し処分を求める要望書を提出するにあたり、その内容を協議しました。

町内の山林に20～30基の風力発電機を設置するもので、令和3年3月に認定を受けたものの、自然環境や生態系への影響などが問題視され、事業開始までに必要な手続きが進んでいません。

そういった中で、今年6月30日の報道において、事業者が「令和11年運転開始予定」である旨を公に発言したことが確認されたことから、町として反対の立場を表明するため、8月19日、町長と議長の連名で経済産業省へ要望書を提出しました。



過度な開発には断固反対

要望書の内容（一部抜粋）

本町は、再生可能エネルギーの導入や脱炭素社会の構築そのものを全否定するものではありません。

しかしながら、本事業に代表される大規模な風力発電事業は、広大な山林の乱開発により森林破壊を伴い、土砂災害の誘発や重要水源地の水質汚染など、町民の生命と安全な生活環境を脅かす可能性が極めて高いことから、本町としては断固として反対の立場を表明するものです。

【要望事項】

再エネ特措法に基づき、速やかに発電事業計画の認定取消し処分を行うこと。

教育民生常任委員会 8月27日

ホールなどの床に異常発生!?

中新田公民館を現地調査



中新田公民館のホール・研修室の床に、直径1ｍほどの膨らみが生じる異常が発生したことから現地調査を行い、床の状態確認や原因・今後の対応などの聴き取りを行いました。

床の膨張は昨年6月、9月、今年7月の3回発生し、いずれも翌日には自然に膨らみが消えています。

原因は、建設時の施工不良により、床コンクリートとシートの接着不良が生じたためと考えられます。

床は、施工者の責務において、無償で補修工事が行われる予定です。

工期…令和8年11月24日から12月18日
※工期中は研修室1・2、ホールは使えません

総務産業常任委員会 10月7日

これからの観光振興を考える

観光まちづくり協会との意見交換会



「加美町の観光資源を生かした今後のまちづくりの可能性について」をテーマに、加美町観光まちづくり協会会長・副会長・理事3人と意見交換をしました。

協会は平成27年6月に設立して以来、町の観光・地域資源を活用して魅力と活力のあるまちづくりに寄与することを目的に、さまざまな事業を行っています。

意見交換では、事業展開に向けた多様なアイデアが交わされた一方で、人員・財源不足に苦慮しているという声もありました。

協会が事業を継続し魅力的なまちづくりにつながるよう、今後も議会として提案・協力をしていきたいと思います。

補正予算

嘉義市での交流事業に補助

４６０万円 増

臨時会
10月8日

町内で活動する団体が台湾・嘉義市で交流促進事業を行う際に、渡航費や宿泊費の半額を補助（1人あたり上限10万円）します。加えて、国内での空港までの移動や通訳の費用も支援します。

嘉義市とは、今年3月に友好都市提携協定を締結しています。今後、更なる連携強化を図るべく、町民が主体となった人的交流を促進するために補助金が創設されました。

この補助金を活用して交流が深まることにより、将来的にインバウンド誘致や地場産品の販路開拓など、持続的な経済効果がもたらされることが期待されます。

問 補助対象者に年齢要件はあるのか。

答 年齢要件はない。高校生でも大学生でも、訪台してどんどん交流を深めてほしい。

問 応募団体へのサポート体制は。

答 現地での交流相手を見つけることが難しいと思うので、嘉義市に派遣している職員と協力してサポートしたい。



昨年12月の嘉義市訪問の様子（オープンマーケット）

全員協議会
10月8日

加美病院・老健　指定管理者

仁誠会が第一候補に選定

加美病院・加美老人保健施設の指定管理者の第一候補が選定されたことについて、加美郡保健医療福祉行政事務組合より説明がありました。

加美病院は、医療人材の確保が困難であることや、近年の経営不振などから、持続可能な運営が難しい状況にあり、それらの解決策として民間のノウハウを導入するため、指定管理者制度へ移行することとしています。

公募の結果、9月30日の選定委員会で「医療法人仁誠会」が第一候補として選定され、10月20日の組合議会での議決をもって指定管理者に決定。令和9年4月より、新たな体制での経営がスタートします。

問 仁誠会の県内での指定管理実績は。

答 白石市の刈田総合病院の指定管理をしている。地元の医師会とよく連携して地域医療に取り組んでいると、市から報告を受けている。

問 移行により、診療日や料金などが変わるのか。

答 基本的には現状維持で考えている。



病院の経営改善とそれに伴う町負担金の支出減に期待

視察レポート　教育民生常任委員会　令和8年10月13日~14日

安心・やさしい町へ

視察先：愛知県あま市・大阪府富田林（とんだばやし）市

あま市

10億円から5億円へ減

あま市においては3町合併以降、市直営で病院を運営していましたが、毎年10億円近くの繰入金が必要でした。その後、指定管理者の創意工夫に期待し、現在は地域医療振興協会で運営を行い、救急受入れなども充実したことから、指定管理移行後は約5億円に減額できています。住民からは、一番に病院の存続を求められ、そのためには指定管理もやぶさかではない反応であったようです。

病院経営の成否は、院長の手腕により大きく結果が変わるとのことです。指定管理に移行する加美病院においても期待したいところです。

富田林市

配達ではなく見守り

こどもまんなかアクションの中の事業として、「見守りおむつ定期便」を行っています。カタログから1,500円相当の商品を選んでもらい、子育ての経験や知識のある配達員が、月に1回配達する事業です。単なる配達ではなく、見守り・相談に重きを置いています。

富田林市の事業スキームを参考に取り入れる周辺自治体も出てきているとのことです。加美町において検討する場合には、事業費を抑えるよう児童民生委員などの協力も得ることが必要になりそうです。



育児のお悩み なんでも聴きます

追跡シリーズ

あれからどうなった vol.59

これまでの定例会などで質問されたことが、その後どうなったのかをお知らせします。

令和6年第4回定例会
議会広報No.88号から

その後



問　**温泉総選挙２０２４レジャー／街ぶら部門の全国１位受賞を契機に、観光客の増加が見込まれるが、稼げる自治体としての策の検討や加美町振興公社への支援策は。**

町長　受賞記念イベントを検討しているが、一次的に留まらない戦略と薬莱から街なかへ回遊してもらうことを期待している。

■協会と連携しツアー実施

商工観光課　薬師の湯では、全国１位受賞記念として入館者に記念品をプレゼントしました。町としては、横断幕での受賞ＰＲや設備更新を行いイメージアップに努めました。また、観光まちづくり協会と連携して入館者に商店街パンフレットの配布や、「親しみやすく温かみのあるおもてなし」をテーマに、薬莱を巡り中新田商店街を散策するツアーを実施しました。今後も薬莱から街なかへ回遊できるツアーの磨き上げなど、誘客に努めてまいります。

調査員コメント　**今後に期待**

全国１位受賞は町に元気を与えてくれました。

ツアーをより良いものにするための案を、一般町民に募集するのはいかがでしょう。　（伊藤）

議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

8月～10月

①



ハラスメント防止
条例化を目指します

②



健康になれて
商品券も当たるかも⁉

月	日	本会議・委員会など	内容
8月	4日	議会運営委員会	第２回定例会の反省などについて協議
	6日	宮城県町村議会議長会議員セミナー	地方議会におけるハラスメント対策と議員活動におけるＳＮＳ利用上の注意点について講義受講 ①
	10日	再エネ特別委員会	大規模風力発電事業に関する要望書について協議
	17日	全員協議会	特別職の職員の給与及び報酬に係る条例改正などについて協議
	26日	議会運営委員会	第３回定例会の運営について協議
	27日	総務産業常任委員会	中新田地区商店街の活性化などについて調査
		教育民生常任委員会	中新田公民館の床破損などについて調査
9月	8～18日	第３回定例会	一般質問・議案審議・令和７年度決算審査
10月	1日	全員協議会	町政懇談会、ユニークベニュー推進業務などについて協議
	7日	総務産業常任委員会	加美町観光まちづくり協会との観光振興に係る意見交換会
	8日	第６回臨時会	補正予算、町長専決事件（旧母子寮の屋根による事故）の報告
		全員協議会	加美病院・加美老健施設の指定管理者の選定状況について協議
	13～14日	教育民生常任委員会	行政視察（愛知県あま市・大阪府富田林市）
	19日	議会運営委員会	第３回定例会の反省などについて協議
	23日	教育民生常任委員会	「かみてく」の現状と今後の取り組みなどについて調査 ②
	27～29日	議会広報常任委員会	行政視察（北海道当別町・鷹栖町・夕張市）

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回（9/10、9/18、10/5、10/15、10/21）開催しました。

議会だよりへ一言

議会だより９２号（令和８年２月１日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター

文字数が多いと読む気がなくなる。お年寄りも字が小さいと読みにくいのでは…

広報委員会

文字に頼らずとも十分な情報をお伝えできるよう、写真・図・グラフなどをさらに活用していきます。

次回の定例会は

１２月中旬

から開催します

議会傍聴について



傍聴の受付は「小野田支所３階」にて行います。
規則により、傍聴を希望する方は申請書への住所・氏名・年齢をご記入ください。
一般傍聴席は「１９席のみ」となります。
満席時には、１階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています ▶

傍聴・視聴された方（延べ人数）

会議	傍聴者人数		議会中継(LIVE)アクセス件数
	男性	女性	
第３回定例会	２０	２２	2,４２２

おらほのコミュニティ



～桜の季節は美代川の散策を～

宮崎・上小路一



佐竹久一区長

世帯数	90世帯
人口	223人

（令和8年10月1日現在）

上小路一行政区は、宮崎地区町城内の西端に位置し、上石住宅20戸を含む約90世帯の集落です。南西には陶芸の里スポーツ公園があり、競技やイベントが開かれています。北側には鳴瀬川の支流・田川が流れています。

高齢者世帯や空き家が増える中、共同事業には住民が力を合わせています。生活道路を守る防雪柵は3路線5か所、約290メートルに及び、設置と撤去を全戸で行っています。

夏には集会所広場で青年会を中心に夏祭りを開催。ミニデイサービスでは花見や健康教室、紅葉狩り、忘年会を楽しんでいます。各団体も防災や防犯、交通安全に取り組んでいます。



力を合わせて防雪柵を設置

町と城内の間を流れる美代川は、石母田家の築城時の外堀・土堤川を改修した水路です。8行政区の美代川愛護会が清掃を続けています。

これからも住民と協力して、住み良い町づくりに取り組みます。

われらが仲間

いつでも どこでも 誰でも
加美町スポーツ推進委員会

加美町が誕生し、20年が過ぎました。町内のスポーツイベントは、これまで同様合併前の3地区で開催してきました。私たちスポーツ推進委員会が目指す「いつでも、どこでも、誰でも」の趣旨を目標とし、全町民を対象として昨年、第1回かみまちカップモルック大会を開催しました。

モルックは、フィンランド発祥のニュースポーツで、木の棒（モルック棒）を投げて、点数を競い合う競技です。子どもから高齢者まで誰でも楽しめ、同時に頭脳戦が勝敗を左右する競技でもあります。町民の皆様への普及を図るため、加美町独自の特別ルールのもとに実施いたしました。昨年の優勝は小学生のチーム、準優勝は高校生のチームとなりました。開催にあたっては、町内の企業、商店、寺院の皆様から協賛をいただき、新しい形での大会運営を試みました。



大盛り上がりだった第1回モルック大会

今年度も11月29日、宮崎陶芸の里体育館を会場に、最大64チームの参加を見据えて開催いたします。ぜひご観戦ください。

委員の一言

近年に比べると過ごしやすい気候ですが、一度雨が降ると数日続くのが今年の印象です。

今号では学校校舎の雨漏りを大きく取り上げました。かつての学び舎を視察しましたが、剥がれている壁やひび割れている外壁を見て、昔の記憶と重ね合わせて胸が痛みました。

議会だよりを通して、町の課題を一層深く感じていただければ幸いです。

（早坂　潔）

議会広報常任委員会

編集委員

委員長　髙橋　聡輔
副委員長　伊藤　由子
委員　佐藤　圭介
〃　今野　清人
〃　早坂　潔
〃　田中　草太

発行／宮城県加美町議会
発行責任者／宮城県加美町議会議長　味上庄一郎
編集／議会広報常任委員会

〒981-4392　宮城県加美郡加美町字長檀75-2
TEL 0229-67-5120　FAX 0229-67-5130
https://www.town.kami.miyagi.jp/　E-mail:gikaijimu@town.kami.miyagi.jp